

【参考】都府県別の負傷者数

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 7,100	約 70	約 1,200	約 90	約 87,000	約 500
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 200	約 80	約 100	約 20	約 38,000	約 70
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 500	約 60	約 200	約 20	約 26,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 300	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	-	約 100	約 300	約 20	約 34,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 600	約 40	-	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 8,400	約 500	約 2,500	約 600	約 318,000	約 700

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	-	-	約 80	-	-	-	約 80	-
神奈川県	約 400	約 400	約 800	-	-	約 10	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 12,000	約 70	約 1,200	約 90	約 92,000	約 600
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 1,000	約 20	約 300	約 80	約 46,000	約 500
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,400	約 80	約 100	約 20	約 39,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 90	-	約 10	約 200	約 13,000	約 200
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 80	-	-	約 40	約 6,200	約 50
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,900	約 60	約 200	約 20	約 28,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 700	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 200
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 800	約 10	-	-	約 1,600	約 10
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	-	約 10	約 14,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 90	-	-	-	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 24,000	約 500	約 2,500	約 600	約 333,000	約 2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 7,100	約 70	約 1,400	約 90	約 87,000	約 500
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 200	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 70
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 500	約 60	約 400	約 20	約 27,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 300	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	-	約 100	約 400	約 20	約 34,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 600	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 8,400	約 500	約 3,200	約 600	約 318,000	約 700

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	-	-	約 80	-	-	-	約 80	-
神奈川県	約 400	約 400	約 800	-	-	約 10	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 12,000	約 70	約 1,400	約 90	約 92,000	約 600
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 1,000	約 20	約 400	約 80	約 46,000	約 500
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,400	約 80	約 200	約 20	約 39,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 90	-	約 30	約 200	約 14,000	約 200
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 80	-	-	約 40	約 6,200	約 50
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,900	約 60	約 400	約 20	約 28,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 700	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 400	約 20	約 35,000	約 200
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 800	約 10	-	-	約 1,600	約 10
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	約 10	約 10	約 14,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 90	-	-	-	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 24,000	約 500	約 3,200	約 600	約 334,000	約 2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	-	-	約10	-
神奈川県	約400	約400	-	-	-	約200	約500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
山梨県	約2,900	約500	-	-	-	約100	約3,100	-
長野県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,100	約300	-	-	-	約40	約1,100	-
静岡県	約69,000	約18,000	約4,200	約30	約1,600	約1,300	約76,000	約500
愛知県	約29,000	約8,200	-	約10	約400	約1,300	約31,000	-
三重県	約28,000	約4,000	約100	約30	約200	約300	約29,000	約20
滋賀県	約900	約400	-	-	-	約100	約1,000	-
京都府	約1,300	約700	-	-	-	約700	約2,100	-
大阪府	約9,800	約4,600	-	-	約10	約3,100	約13,000	約40
兵庫県	約4,500	約1,700	-	-	-	約600	約5,100	-
奈良県	約2,900	約700	-	約10	-	約300	約3,200	-
和歌山県	約21,000	約3,200	約200	約30	約400	約200	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,000	約600	-	-	-	約100	約2,100	約10
広島県	約200	約200	-	-	-	約20	約200	-
山口県	約30	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約18,000	約3,800	-	約20	約400	約200	約19,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	-	約90	約3,300	-
愛媛県	約7,000	約900	-	約10	-	約100	約7,100	-
高知県	約29,000	約5,700	-	約50	約400	約200	約30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約40	約300	-
大分県	約600	約300	-	-	-	約40	約600	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約20	約10	約200	約7,900	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約10	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約240,000	約56,000	約4,700	約200	約3,400	約9,400	約257,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60	-
神奈川県	約 400	約 400	約 700	-	-	約 200	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 9,200	約 30	約 1,600	約 1,300	約 81,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 700	約 10	約 400	約 1,300	約 32,000	約 400
三重県	約 28,000	約 4,000	約 1,200	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 100	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 100
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 100	-	-	約 600	約 5,200	約 40
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,700	約 30	約 400	約 200	約 23,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	-
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 700	約 20	約 400	約 200	約 20,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,700	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 20	約 10	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 10	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 20,000	約 200	約 3,400	約 9,400	約 273,000	約 2,400

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	-	-	約10	-
神奈川県	約400	約400	-	-	-	約200	約500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
山梨県	約2,900	約500	-	-	-	約100	約3,100	-
長野県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,100	約300	-	-	-	約40	約1,100	-
静岡県	約69,000	約18,000	約4,200	約30	約1,700	約1,300	約76,000	約500
愛知県	約29,000	約8,200	-	約10	約500	約1,300	約31,000	-
三重県	約28,000	約4,000	約100	約30	約200	約300	約29,000	約20
滋賀県	約900	約400	-	-	-	約100	約1,000	-
京都府	約1,300	約700	-	-	-	約700	約2,100	-
大阪府	約9,800	約4,600	-	-	約100	約3,100	約13,000	約40
兵庫県	約4,500	約1,700	-	-	-	約600	約5,100	-
奈良県	約2,900	約700	-	約10	-	約300	約3,200	-
和歌山県	約21,000	約3,200	約200	約30	約600	約200	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,000	約600	-	-	-	約100	約2,100	約10
広島県	約200	約200	-	-	-	約20	約200	-
山口県	約30	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約18,000	約3,800	-	約20	約400	約200	約19,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	-	約90	約3,300	-
愛媛県	約7,000	約900	-	約10	-	約100	約7,100	-
高知県	約29,000	約5,700	-	約50	約600	約200	約30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約40	約300	-
大分県	約600	約300	-	-	-	約40	約600	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約20	約20	約200	約7,900	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約10	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約240,000	約56,000	約4,700	約200	約4,200	約9,400	約258,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、夏12時、風速8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	-	-	約 60	-
神奈川県	約 400	約 400	約 700	-	-	約 200	約 1,200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 9,200	約 30	約 1,700	約 1,300	約 81,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 700	約 10	約 500	約 1,300	約 32,000	約 400
三重県	約 28,000	約 4,000	約 1,200	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 100	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 100
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 100	-	-	約 600	約 5,200	約 40
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,700	約 30	約 600	約 200	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	-
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 700	約 20	約 400	約 200	約 20,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,700	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 600	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 20	約 20	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 10	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 20,000	約 200	約 4,200	約 9,400	約 274,000	約 2,400

-：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	約10	-	約20	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約4,100	約50	約3,700	約2,300	約71,000	約500
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,000	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約100	約50	約700	約500	約28,000	約20
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約10	約1,200	約2,700	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約3,500	約5,400	約20,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約50	約1,100	約6,200	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約10	約500	約4,000	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約200	約40	約1,400	約400	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	-	約200	約2,500	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約900	約400	約18,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	約10	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約40	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	-	約90	約1,000	約400	約27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約30	約300	約300	約8,300	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約4,700	約400	約14,000	約16,000	約262,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	約 10	-	約 70	-
神奈川県	約 300	約 300	約 700	-	約 10	約 400	約 1,300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 9,100	約 50	約 3,700	約 2,300	約 76,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 800	約 20	約 2,000	約 2,200	約 35,000	約 400
三重県	約 26,000	約 3,900	約 1,200	約 50	約 700	約 500	約 29,000	約 200
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 100	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 100
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 100	-	約 50	約 1,100	約 6,300	約 40
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,700	約 40	約 1,400	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 700	約 30	約 900	約 400	約 19,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	約 10	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 40	約 300	約 7,900	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 1,000	約 400	約 28,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 20	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 20,000	約 400	約 14,000	約 16,000	約 277,000	約 2,300

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬18時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	約10	-	約10	-	約20	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約4,100	約50	約3,900	約2,300	約71,000	約500
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,100	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約100	約50	約800	約500	約28,000	約20
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約200	約1,200	約3,000	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約4,500	約5,400	約21,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約200	約1,100	約6,300	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約50	約500	約4,100	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約200	約40	約1,400	約400	約22,000	約40
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	約40	約200	約2,600	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約900	約400	約18,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	約20	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約80	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	-	約90	約1,200	約400	約27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約30	約300	約300	約8,300	-
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約4,700	約400	約16,000	約16,000	約264,000	約600

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース①、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	-	-	約 60	-	約 10	-	約 70	-
神奈川県	約 300	約 300	約 700	-	約 10	約 400	約 1,300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 9,100	約 50	約 3,900	約 2,300	約 76,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 800	約 20	約 2,100	約 2,200	約 35,000	約 400
三重県	約 26,000	約 3,900	約 1,200	約 50	約 800	約 500	約 29,000	約 200
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 100	-	約 4,500	約 5,400	約 21,000	約 100
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 100	-	約 200	約 1,100	約 6,500	約 40
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,700	約 40	約 1,400	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 700	約 30	約 900	約 400	約 19,000	約 100
香川県	約 3,200	約 500	約 10	-	約 20	約 200	約 3,400	-
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 80	約 300	約 8,000	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 1,200	約 400	約 28,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,600	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 80	-	-	約 20	約 400	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 20,000	約 400	約 16,000	約 16,000	約 279,000	約 2,300

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	約 30	-	-	-	約 50	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 7,100	約 40	約 900	約 70	約 80,000	約 300
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,100	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 200	約 80	約 600	約 30	約 65,000	約 70
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 400	約 50	約 1,000	約 20	約 37,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 10
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 10
高知県	約 45,000	約 13,000	-	約 100	約 600	約 30	約 46,000	約 10
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 600	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 30
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 8,400	約 800	約 8,900	約 1,100	約 606,000	約 600

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	約 10	約 10	約 80	-	-	-	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 800	-	-	-	約 1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 12,000	約 40	約 900	約 70	約 84,000	約 400
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 1,000	約 60	約 2,100	約 200	約 100,000	約 600
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,400	約 80	約 600	約 30	約 66,000	約 300
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 90	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 300
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 80	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 100
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,900	約 50	約 1,000	約 20	約 39,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 700	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 500	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 600	約 30	約 47,000	約 200
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 800	約 50	-	約 10	約 4,800	約 50
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 90	-	-	-	約 700	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 24,000	約 800	約 8,900	約 1,100	約 621,000	約 2,900

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内 収容物移動・転倒、 屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	約 30	-	-	-	約 50	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 7,100	約 40	約 900	約 70	約 80,000	約 300
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,200	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 200	約 80	約 600	約 30	約 65,000	約 70
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 400	約 50	約 1,100	約 20	約 37,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 10
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 10
高知県	約 45,000	約 13,000	-	約 100	約 800	約 30	約 46,000	約 10
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 600	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 30
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 8,400	約 800	約 11,000	約 1,100	約 608,000	約 600

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内 収容物移動・転倒、 屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 800	-	-	-	約 800	-
東京都	約 10	約 10	約 80	-	-	-	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 800	-	-	-	約 1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 12,000	約 40	約 900	約 70	約 84,000	約 400
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 1,000	約 60	約 2,200	約 200	約 100,000	約 600
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,400	約 80	約 600	約 30	約 66,000	約 300
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 90	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 300
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 80	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 100
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,900	約 50	約 1,100	約 20	約 39,000	約 300
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 700	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 800	約 30	約 47,000	約 200
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 800	約 50	-	約 10	約 4,800	約 50
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 90	-	-	-	約 700	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 24,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 623,000	約 2,900

-：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	約10	-	-	約40	約70	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約4,200	約20	約1,100	約1,100	約79,000	約400
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,500	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約100	約30	約700	約400	約55,000	約20
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,100	約5,700	約42,000	約50
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約200	約30	約1,200	約300	約33,000	約40
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約10
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約700	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約60	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約10
高知県	約44,000	約9,800	-	約40	約800	約400	約45,000	-
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約200	約10	約200	約200	約17,000	-
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約4,700	約300	約11,000	約17,000	約507,000	約500

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 700	-	-	-	約 700	-
東京都	約 20	約 20	約 60	-	-	約 40	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 700	-	-	約 80	約 1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 9,200	約 20	約 1,100	約 1,100	約 84,000	約 400
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 700	約 20	約 2,500	約 2,500	約 78,000	約 500
三重県	約 54,000	約 9,200	約 1,200	約 30	約 700	約 400	約 56,000	約 200
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 100	約 10	約 3,100	約 5,700	約 42,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 100	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	約 90
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 1,700	約 30	約 1,200	約 300	約 34,000	約 200
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 30
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	約 10
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 700	約 20	約 700	約 300	約 30,000	約 100
香川県	約 17,000	約 2,000	約 10	約 10	約 60	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 500	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	約 700	約 40	約 800	約 400	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 900	約 20	-	約 90	約 3,500	約 80
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,600	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 80	-	-	約 10	約 700	約 60
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 20,000	約 300	約 11,000	約 17,000	約 522,000	約 2,600

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1) 東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 4,200	約 20	約 1,100	約 1,100	約 79,000	約 400
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 100	約 30	約 800	約 400	約 55,000	約 20
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,800	約 5,700	約 42,000	約 50
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 200	約 30	約 1,300	約 300	約 33,000	約 40
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 10
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	-	約 20	約 700	約 300	約 29,000	-
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 90	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 10
高知県	約 44,000	約 9,800	-	約 40	約 1,000	約 400	約 45,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 200	約 10	約 300	約 200	約 17,000	-
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 4,700	約 300	約 13,000	約 17,000	約 509,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、夏12時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約20	-	-	-	約20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約700	-	-	-	約700	-
東京都	約20	約20	約60	-	-	約40	約100	-
神奈川県	約200	約200	約700	-	-	約80	約1,000	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約9,200	約20	約1,100	約1,100	約84,000	約400
愛知県	約72,000	約24,000	約700	約20	約2,600	約2,500	約78,000	約500
三重県	約54,000	約9,200	約1,200	約30	約800	約400	約56,000	約200
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約100	約1,700	約9,600	-
大阪府	約33,000	約11,000	約100	約10	約3,800	約5,700	約43,000	約300
兵庫県	約14,000	約3,700	約100	約10	約100	約1,200	約16,000	約90
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約100	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約1,700	約30	約1,300	約300	約34,000	約200
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約80	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約30
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	約10
徳島県	約28,000	約6,200	約700	約20	約700	約300	約30,000	約100
香川県	約17,000	約2,000	約10	約10	約90	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	約500	約20	約800	約500	約39,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	約700	約40	約1,000	約400	約46,000	約100
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	約900	約20	-	約90	約3,500	約80
宮崎県	約16,000	約3,100	約2,600	約10	約300	約200	約19,000	約400
鹿児島県	約600	約100	約80	-	-	約10	約700	約60
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約474,000	約110,000	約20,000	約300	約13,000	約17,000	約524,000	約2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 4,200	約 30	約 2,400	約 1,900	約 67,000	約 400
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,100	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 100	約 50	約 1,800	約 800	約 49,000	約 20
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 50
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 200	約 40	約 2,400	約 600	約 32,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 10
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,300	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 10
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,500	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 700	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 4,700	約 500	約 39,000	約 29,000	約 516,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約20	-	-	-	約20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約700	-	-	-	約700	-
東京都	約20	約20	約60	-	約10	約100	約200	-
神奈川県	約200	約200	約700	-	約10	約200	約1,100	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約70	約70	-	-	-	約10	約80	-
山梨県	約4,100	約600	-	約10	約10	約300	約4,400	-
長野県	約1,300	約300	-	約10	-	約80	約1,400	-
岐阜県	約3,200	約700	-	約10	約10	約200	約3,400	-
静岡県	約58,000	約17,000	約9,100	約30	約2,400	約1,900	約72,000	約400
愛知県	約68,000	約22,000	約800	約40	約7,100	約4,200	約80,000	約500
三重県	約46,000	約8,900	約1,200	約50	約1,800	約800	約50,000	約200
滋賀県	約7,400	約1,100	-	-	約50	約400	約7,900	-
京都府	約9,100	約1,900	-	-	約2,100	約2,900	約14,000	-
大阪府	約38,000	約11,000	約100	約10	約15,000	約9,700	約63,000	約300
兵庫県	約17,000	約3,700	約100	約10	約800	約2,100	約20,000	約90
奈良県	約13,000	約2,200	-	約30	約600	約1,000	約15,000	-
和歌山県	約29,000	約5,600	約1,700	約40	約2,400	約600	約34,000	約200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約12,000	約1,600	-	約10	約400	約500	約13,000	約20
広島県	約7,500	約1,400	-	約20	約20	約800	約8,400	約20
山口県	約1,200	約100	-	約10	-	約40	約1,200	約10
徳島県	約24,000	約5,900	約700	約40	約1,300	約500	約27,000	約100
香川県	約16,000	約1,900	約10	約20	約300	約300	約17,000	-
愛媛県	約34,000	約6,000	約500	約40	約1,900	約800	約37,000	約20
高知県	約36,000	約9,300	約700	約70	約1,500	約700	約39,000	約100
福岡県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約300	約200	-	約10	-	約70	約400	-
大分県	約2,700	約500	約900	約30	約10	約200	約3,800	約80
宮崎県	約15,000	約2,900	約2,600	約10	約700	約400	約18,000	約400
鹿児島県	約400	約100	約80	-	-	約20	約600	約60
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約443,000	約105,000	約20,000	約500	約39,000	約29,000	約531,000	約2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬18時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	約10	-	約10	約100	約100	-
神奈川県	約200	約200	-	-	約10	約200	約400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約70	約70	-	-	-	約10	約80	-
山梨県	約4,100	約600	-	約10	約40	約300	約4,400	-
長野県	約1,300	約300	-	約10	-	約80	約1,400	-
岐阜県	約3,200	約700	-	約10	約20	約200	約3,400	-
静岡県	約58,000	約17,000	約4,200	約30	約2,500	約1,900	約67,000	約400
愛知県	約68,000	約22,000	-	約40	約7,100	約4,200	約79,000	-
三重県	約46,000	約8,900	約100	約50	約1,800	約800	約49,000	約20
滋賀県	約7,400	約1,100	-	-	約100	約400	約8,000	-
京都府	約9,100	約1,900	-	-	約2,700	約2,900	約15,000	-
大阪府	約38,000	約11,000	-	約10	約16,000	約9,700	約64,000	約50
兵庫県	約17,000	約3,700	-	約10	約1,100	約2,100	約20,000	-
奈良県	約13,000	約2,200	-	約30	約900	約1,000	約15,000	-
和歌山県	約29,000	約5,600	約200	約40	約2,400	約600	約32,000	約30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約12,000	約1,600	-	約10	約500	約500	約13,000	約20
広島県	約7,500	約1,400	-	約20	約40	約800	約8,400	約10
山口県	約1,200	約100	-	約10	-	約40	約1,200	-
徳島県	約24,000	約5,900	-	約40	約1,300	約500	約26,000	-
香川県	約16,000	約1,900	-	約20	約400	約300	約17,000	-
愛媛県	約34,000	約6,000	-	約40	約2,400	約800	約37,000	約10
高知県	約36,000	約9,300	-	約70	約1,800	約700	約38,000	-
福岡県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約300	約200	-	約10	-	約70	約400	-
大分県	約2,700	約500	-	約30	約30	約200	約3,000	-
宮崎県	約15,000	約2,900	約200	約10	約800	約400	約16,000	-
鹿児島県	約400	約100	-	-	-	約20	約500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約443,000	約105,000	約4,700	約500	約42,000	約29,000	約519,000	約500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (1)東海地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース①、冬18時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約20	-	-	-	約20	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	約700	-	-	-	約700	-
東京都	約20	約20	約60	-	約10	約100	約200	-
神奈川県	約200	約200	約700	-	約10	約200	約1,100	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約70	約70	-	-	-	約10	約80	-
山梨県	約4,100	約600	-	約10	約40	約300	約4,400	-
長野県	約1,300	約300	-	約10	-	約80	約1,400	-
岐阜県	約3,200	約700	-	約10	約20	約200	約3,400	-
静岡県	約58,000	約17,000	約9,100	約30	約2,500	約1,900	約72,000	約400
愛知県	約68,000	約22,000	約800	約40	約7,100	約4,200	約80,000	約500
三重県	約46,000	約8,900	約1,200	約50	約1,800	約800	約50,000	約200
滋賀県	約7,400	約1,100	-	-	約100	約400	約8,000	-
京都府	約9,100	約1,900	-	-	約2,700	約2,900	約15,000	-
大阪府	約38,000	約11,000	約100	約10	約16,000	約9,700	約64,000	約300
兵庫県	約17,000	約3,700	約100	約10	約1,100	約2,100	約20,000	約90
奈良県	約13,000	約2,200	-	約30	約900	約1,000	約15,000	-
和歌山県	約29,000	約5,600	約1,700	約40	約2,400	約600	約34,000	約200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約12,000	約1,600	-	約10	約500	約500	約13,000	約20
広島県	約7,500	約1,400	-	約20	約40	約800	約8,400	約20
山口県	約1,200	約100	-	約10	-	約40	約1,200	約10
徳島県	約24,000	約5,900	約700	約40	約1,300	約500	約27,000	約100
香川県	約16,000	約1,900	約10	約20	約400	約300	約17,000	-
愛媛県	約34,000	約6,000	約500	約40	約2,400	約800	約38,000	約20
高知県	約36,000	約9,300	約700	約70	約1,800	約700	約39,000	約100
福岡県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約300	約200	-	約10	-	約70	約400	-
大分県	約2,700	約500	約900	約30	約30	約200	約3,800	約80
宮崎県	約15,000	約2,900	約2,600	約10	約800	約400	約18,000	約400
鹿児島県	約400	約100	約80	-	-	約20	約600	約60
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約443,000	約105,000	約20,000	約500	約42,000	約29,000	約535,000	約2,600

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



## (2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 700	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 1,200
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 300	約 80	約 100	約 20	約 38,000	約 80
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,000	約 60	約 200	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 600	約 50	約 200	約 10	約 23,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 300	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 40
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 400	約 40	-	約 10	約 11,000	約 100
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 3,300	約 500	約 2,500	約 600	約 313,000	約 1,500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 200	-	-	約 10	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,200	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 1,400
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 600	約 20	約 300	約 80	約 45,000	約 100
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,000	約 80	約 100	約 20	約 38,000	約 100
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 600	-	約 10	約 200	約 14,000	約 400
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 700	-	-	約 40	約 6,800	約 200
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,700	約 60	約 200	約 20	約 29,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 2,500	約 50	約 200	約 10	約 25,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,400	約 100	約 300	約 20	約 36,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 900	約 10	-	-	約 1,800	約 30
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 3,000	約 40	-	約 10	約 14,000	約 500
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 16,000	約 500	約 2,500	約 600	約 325,000	約 3,300

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 700	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 1,200
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 300	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 80
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,000	約 60	約 400	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 600	約 50	約 200	約 10	約 23,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 300	約 100	約 400	約 20	約 35,000	約 40
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 400	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 100
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 3,300	約 500	約 3,200	約 600	約 313,000	約 1,500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 200	-	-	約 10	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,200	約 70	約 1,500	約 90	約 82,000	約 1,400
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 600	約 20	約 400	約 80	約 45,000	約 100
三重県	約 37,000	約 5,400	約 1,000	約 80	約 200	約 20	約 39,000	約 100
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 600	-	約 30	約 200	約 14,000	約 400
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 700	-	-	約 40	約 6,800	約 200
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,700	約 60	約 400	約 20	約 29,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 2,500	約 50	約 200	約 10	約 25,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 500	約 30	-	約 10	約 11,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,400	約 100	約 400	約 20	約 36,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 900	約 10	-	-	約 1,800	約 30
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 3,000	約 40	約 10	約 10	約 14,000	約 500
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 16,000	約 500	約 3,200	約 600	約 326,000	約 3,300

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 400	約 30	約 1,700	約 1,300	約 72,000	約 400
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 200	約 30	約 200	約 300	約 29,000	-
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 500	約 30	約 300	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 100	約 20	約 300	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 30	約 50	約 400	約 200	約 30,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 20	約 10	約 200	約 7,800	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 1,300	約 200	約 3,400	約 9,400	約 254,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 100	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,300	約 30	約 1,700	約 1,300	約 73,000	約 900
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 400	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	約 100
三重県	約 28,000	約 4,000	約 900	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 40
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 1,300	-	約 10	約 3,100	約 14,000	約 300
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 1,000	-	-	約 600	約 6,100	約 300
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,400	約 30	約 300	約 200	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 10	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 2,500	約 20	約 300	約 200	約 21,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,600	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 20	約 10	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 10	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 16,000	約 200	約 3,400	約 9,400	約 268,000	約 2,400

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 400	約 30	約 1,800	約 1,300	約 72,000	約 400
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 200	約 30	約 300	約 300	約 29,000	-
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 500	約 30	約 500	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 100	約 20	約 300	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 30	約 50	約 500	約 200	約 30,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 20	約 20	約 200	約 7,800	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 1,300	約 200	約 4,100	約 9,400	約 255,000	約 500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	-	-	約 20	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 100	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,300	約 30	約 1,800	約 1,300	約 73,000	約 900
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 400	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	約 100
三重県	約 28,000	約 4,000	約 900	約 30	約 300	約 300	約 30,000	約 40
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 1,300	-	約 100	約 3,100	約 14,000	約 300
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 1,000	-	-	約 600	約 6,100	約 300
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,400	約 30	約 500	約 200	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 10	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 2,500	約 20	約 300	約 200	約 21,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,000	約 900	約 500	約 10	-	約 100	約 7,600	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 500	約 200	約 31,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 20	約 20	約 200	約 10,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 10	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 16,000	約 200	約 4,100	約 9,400	約 269,000	約 2,400

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 400	約 50	約 4,000	約 2,300	約 67,000	約 400
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 200	約 50	約 900	約 500	約 28,000	-
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 50	約 1,100	約 6,200	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 500	約 40	約 1,100	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 100	約 30	約 700	約 400	約 18,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 10	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 40	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 30	約 90	約 900	約 400	約 27,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 30	約 300	約 300	約 8,200	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 1,300	約 400	約 14,000	約 16,000	約 258,000	約 500

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 20	-	約 10	-	約 30	-
神奈川県	約 300	約 300	約 100	-	約 10	約 400	約 800	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 1,300	約 50	約 4,000	約 2,300	約 68,000	約 900
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 400	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	約 100
三重県	約 26,000	約 3,900	約 900	約 50	約 900	約 500	約 29,000	約 40
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 1,400	-	約 3,500	約 5,400	約 21,000	約 300
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 900	-	約 50	約 1,100	約 7,100	約 200
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 2,400	約 40	約 1,100	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 10	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 2,500	約 30	約 700	約 400	約 20,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 10	約 200	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 40	約 300	約 7,900	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 1,000	約 90	約 900	約 400	約 28,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 1,000	約 10	-	約 80	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 20	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 15,000	約 400	約 14,000	約 16,000	約 272,000	約 2,400

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 400	約 50	約 4,200	約 2,300	約 68,000	約 400
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 200	約 50	約 900	約 500	約 28,000	-
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 200	約 1,100	約 6,300	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 500	約 40	約 1,200	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 100	約 30	約 700	約 400	約 18,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 20	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 80	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 30	約 90	約 1,100	約 400	約 27,000	約 10
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 90	約 30	約 300	約 300	約 8,300	約 20
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 1,300	約 400	約 16,000	約 16,000	約 260,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

## (2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 20	-	約 10	-	約 30	-
神奈川県	約 300	約 300	約 100	-	約 10	約 400	約 800	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 1,300	約 50	約 4,200	約 2,300	約 69,000	約 900
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 400	約 20	約 2,200	約 2,200	約 35,000	約 100
三重県	約 26,000	約 3,900	約 900	約 50	約 900	約 500	約 29,000	約 40
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 1,400	-	約 4,400	約 5,400	約 22,000	約 300
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 900	-	約 200	約 1,100	約 7,200	約 200
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 2,400	約 40	約 1,200	約 400	約 24,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 10	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 2,500	約 30	約 700	約 400	約 20,000	約 80
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 20	約 200	約 3,500	約 20
愛媛県	約 7,100	約 800	約 500	約 20	約 80	約 300	約 7,900	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 1,000	約 90	約 1,100	約 400	約 28,000	約 90
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 1,000	約 10	-	約 80	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,500	約 30	約 300	約 300	約 11,000	約 400
鹿児島県	約 300	約 90	約 100	-	-	約 20	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 15,000	約 400	約 16,000	約 16,000	約 275,000	約 2,400

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 700	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,000
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,100	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 300	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 80
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,000	約 50	約 800	約 20	約 37,000	約 80
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 600	約 50	約 400	約 20	約 32,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 300	約 100	約 600	約 30	約 46,000	約 40
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 400	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 3,300	約 800	約 8,800	約 1,100	約 601,000	約 1,400

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 40	-
神奈川県	約 200	約 200	約 200	-	-	-	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,200	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,100
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 600	約 60	約 2,100	約 200	約 100,000	約 100
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,000	約 80	約 700	約 30	約 66,000	約 100
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 600	約 10	約 2,500	約 400	約 50,000	約 600
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 700	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 400
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,700	約 50	約 800	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 2,500	約 50	約 400	約 20	約 34,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 40	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 500	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,400	約 100	約 600	約 30	約 47,000	約 80
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 900	約 50	-	約 10	約 4,900	約 100
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 3,000	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 500
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 16,000	約 800	約 8,800	約 1,100	約 614,000	約 3,600

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 700	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,000
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,300	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 300	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 80
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,000	約 50	約 900	約 20	約 38,000	約 80
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 30
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 600	約 50	約 400	約 20	約 32,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 300	約 100	約 700	約 30	約 46,000	約 40
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 400	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 3,300	約 800	約 11,000	約 1,100	約 603,000	約 1,400

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 10	約 10	約 20	-	-	-	約 40	-
神奈川県	約 200	約 200	約 200	-	-	-	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,200	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 1,100
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 600	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	約 100
三重県	約 64,000	約 12,000	約 1,000	約 80	約 800	約 30	約 66,000	約 100
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 600	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 600
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 700	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 400
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,700	約 50	約 900	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 10	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 2,500	約 50	約 400	約 20	約 34,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 60	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 500	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,400	約 100	約 700	約 30	約 47,000	約 80
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 900	約 50	-	約 10	約 4,900	約 100
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 3,000	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 500
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	-
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 16,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 615,000	約 3,600

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約400	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約300
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,600	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約200	約30	約900	約400	約55,000	-
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,100	約5,700	約42,000	約50
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約500	約30	約1,000	約300	約33,000	約60
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約30
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	約100	約20	約500	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約50	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	約30	約40	約700	約400	約45,000	約10
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約90	約10	約200	約200	約17,000	約20
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約1,300	約300	約11,000	約17,000	約503,000	約500

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	-	約 40	約 80	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,300	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 700
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 400	約 20	約 2,600	約 2,500	約 78,000	約 100
三重県	約 54,000	約 9,200	約 900	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 40
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 1,300	約 10	約 3,100	約 5,700	約 43,000	約 500
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 1,000	約 10	約 70	約 1,200	約 17,000	約 600
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,400	約 30	約 1,000	約 300	約 35,000	約 200
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 10	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 2,500	約 20	約 500	約 300	約 31,000	約 80
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 50	約 200	約 18,000	約 30
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 500	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 30
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 700	約 400	約 46,000	約 90
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,500	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 100	-	-	約 10	約 700	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 15,000	約 300	約 11,000	約 17,000	約 518,000	約 3,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	-	約 40	約 60	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 400	約 20	約 1,200	約 1,100	約 75,000	約 300
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,700	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 200	約 30	約 900	約 400	約 55,000	-
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,800	約 5,700	約 42,000	約 50
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 500	約 30	約 1,100	約 300	約 33,000	約 60
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 30
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 100	約 20	約 500	約 300	約 29,000	-
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 90	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	約 30	約 40	約 900	約 400	約 45,000	約 10
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 90	約 10	約 300	約 200	約 17,000	約 20
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 1,300	約 300	約 13,000	約 17,000	約 505,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 300	-	-	-	約 300	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	-	約 40	約 80	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,300	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 700
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 400	約 20	約 2,700	約 2,500	約 78,000	約 100
三重県	約 54,000	約 9,200	約 900	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 40
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 1,300	約 10	約 3,800	約 5,700	約 44,000	約 500
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 1,000	約 10	約 100	約 1,200	約 17,000	約 600
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,400	約 30	約 1,100	約 300	約 35,000	約 200
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 10	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 2,500	約 20	約 500	約 300	約 31,000	約 80
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 90	約 200	約 18,000	約 30
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 500	約 20	約 800	約 500	約 39,000	約 30
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 900	約 400	約 46,000	約 90
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,500	約 10	約 300	約 200	約 19,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 100	-	-	約 10	約 700	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 15,000	約 300	約 13,000	約 17,000	約 519,000	約 3,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 400	約 30	約 2,700	約 1,900	約 63,000	約 300
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 200	約 50	約 2,000	約 800	約 50,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 500	約 40	約 2,000	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 100	約 40	約 1,100	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 30	約 70	約 1,300	約 700	約 38,000	約 10
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 90	約 10	約 700	約 400	約 16,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 1,300	約 500	約 39,000	約 29,000	約 512,000	約 500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	約 10	約 100	約 200	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	約 10	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,300	約 30	約 2,700	約 1,900	約 64,000	約 700
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 400	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 100
三重県	約 46,000	約 8,900	約 900	約 50	約 2,000	約 800	約 50,000	約 40
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 1,400	約 10	約 15,000	約 9,700	約 64,000	約 500
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 900	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	約 500
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,400	約 40	約 2,000	約 600	約 34,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 10	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 2,500	約 40	約 1,100	約 500	約 28,000	約 80
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 300	約 300	約 17,000	約 30
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 500	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 30
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,300	約 700	約 39,000	約 90
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 10	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,500	約 10	約 700	約 400	約 18,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 100	-	-	約 20	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 15,000	約 500	約 39,000	約 29,000	約 527,000	約 3,000

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 400	約 30	約 2,800	約 1,900	約 63,000	約 300
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 200	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 500	約 40	約 2,000	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 100	約 40	約 1,000	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 30	約 70	約 1,600	約 700	約 38,000	約 10
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 90	約 10	約 800	約 400	約 16,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 1,300	約 500	約 42,000	約 29,000	約 516,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(2) 近畿地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース③、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 20	約 20	約 20	-	約 10	約 100	約 200	-
神奈川県	約 200	約 200	約 100	-	約 10	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,300	約 30	約 2,800	約 1,900	約 64,000	約 700
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 400	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 100
三重県	約 46,000	約 8,900	約 900	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 40
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 1,400	約 10	約 16,000	約 9,700	約 65,000	約 500
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 900	約 10	約 1,100	約 2,100	約 21,000	約 500
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,400	約 40	約 2,000	約 600	約 34,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 10	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 2,500	約 40	約 1,000	約 500	約 28,000	約 80
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 400	約 300	約 17,000	約 30
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 500	約 40	約 2,400	約 800	約 38,000	約 30
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,600	約 700	約 39,000	約 90
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 30	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,500	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 100	-	-	約 20	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 15,000	約 500	約 42,000	約 29,000	約 530,000	約 3,000

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



### (3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 500	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 800
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 100	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 60
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 700	約 60	約 200	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 90	約 50	約 200	約 10	約 23,000	約 30
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 100	約 100	約 300	約 20	約 34,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 300	約 40	-	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,800	約 500	約 2,500	約 600	約 311,000	約 1,100

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,000	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 1,000
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 400	約 20	約 300	約 80	約 45,000	約 50
三重県	約 37,000	約 5,400	約 800	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 400	-	約 10	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 400	-	-	約 40	約 6,500	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,200	約 60	約 200	約 20	約 28,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 20	-	-	-	約 50	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 1,100	約 50	約 200	約 10	約 24,000	約 300
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 300	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,200	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,200	約 10	-	-	約 2,000	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	-	約 10	約 14,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 12,000	約 500	約 2,500	約 600	約 322,000	約 2,700

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 500	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 800
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 100	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 60
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 700	約 60	約 400	約 20	約 27,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 90	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 30
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 100	約 100	約 300	約 20	約 34,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 300	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 20
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,800	約 500	約 3,200	約 600	約 312,000	約 1,100

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 1,000	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 1,000
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 400	約 20	約 400	約 80	約 45,000	約 50
三重県	約 37,000	約 5,400	約 800	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 400	-	約 30	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 400	-	-	約 40	約 6,500	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 2,200	約 60	約 400	約 20	約 28,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 20	-	-	-	約 50	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 1,100	約 50	約 300	約 10	約 24,000	約 300
香川県	約 4,600	約 600	約 200	-	-	約 10	約 4,800	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 300	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 1,200	約 100	約 300	約 20	約 36,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,200	約 10	-	-	約 2,000	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,900	約 40	約 10	約 10	約 14,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	-	約 500	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 12,000	約 500	約 3,200	約 600	約 322,000	約 2,700

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 300	約 30	約 1,700	約 1,300	約 72,000	約 300
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 50	約 30	約 200	約 300	約 29,000	約 10
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 300	約 30	約 400	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 40	約 50	約 300	約 200	約 30,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 20	約 10	約 200	約 7,800	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 800	約 200	約 3,400	約 9,400	約 253,000	約 400

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 40	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,100	約 30	約 1,700	約 1,300	約 73,000	約 700
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 700	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 500	-	約 10	約 3,100	約 14,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 500	-	-	約 600	約 5,600	約 200
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,000	約 30	約 400	約 200	約 24,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 1,200	約 20	約 300	約 200	約 20,000	約 300
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 50
愛媛県	約 7,000	約 900	約 300	約 10	-	約 100	約 7,400	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 300	約 200	約 31,000	約 60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 30
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,300	約 20	約 10	約 200	約 10,000	約 300
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	約 10	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 11,000	約 200	約 3,400	約 9,400	約 264,000	約 2,200

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 300	約 30	約 1,800	約 1,300	約 72,000	約 300
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 50	約 30	約 300	約 300	約 29,000	約 10
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 300	約 30	約 500	約 200	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	約 40	約 50	約 400	約 200	約 30,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 20	約 30	約 200	約 7,800	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 800	約 200	約 4,200	約 9,400	約 254,000	約 400

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、夏12時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 400	約 400	約 40	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 1,100	約 30	約 1,800	約 1,300	約 73,000	約 700
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 700	約 30	約 300	約 300	約 30,000	約 200
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 500	-	約 100	約 3,100	約 14,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 500	-	-	約 600	約 5,600	約 200
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 2,000	約 30	約 500	約 200	約 24,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 10	-	-	-	約 40	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 1,200	約 20	約 300	約 200	約 20,000	約 300
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,500	約 50
愛媛県	約 7,000	約 900	約 300	約 10	-	約 100	約 7,400	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 1,000	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 1,000	-	-	約 40	約 1,700	約 30
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,300	約 20	約 30	約 200	約 10,000	約 300
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	約 10	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 11,000	約 200	約 4,200	約 9,400	約 265,000	約 2,200

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 300	約 50	約 4,000	約 2,300	約 67,000	約 300
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 50	約 50	約 900	約 500	約 28,000	約 20
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 50	約 1,100	約 6,200	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 400	約 40	約 1,200	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	-	約 30	約 800	約 400	約 18,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 10	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 40	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 40	約 90	約 800	約 400	約 27,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 30	約 300	約 300	約 8,200	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 800	約 400	約 14,000	約 16,000	約 258,000	約 400

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20	-
神奈川県	約 300	約 300	約 40	-	約 10	約 400	約 700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 1,100	約 50	約 4,000	約 2,300	約 68,000	約 700
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 200	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	約 40
三重県	約 26,000	約 3,900	約 700	約 50	約 900	約 500	約 28,000	約 200
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 600	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 200
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 500	-	約 50	約 1,100	約 6,700	約 200
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 2,000	約 40	約 1,200	約 400	約 24,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 20	-	-	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	約 10	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 1,100	約 30	約 800	約 400	約 19,000	約 300
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 10	約 200	約 3,500	約 50
愛媛県	約 7,100	約 800	約 300	約 20	約 40	約 300	約 7,700	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 1,000	約 90	約 800	約 400	約 28,000	約 60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 1,000	約 10	-	約 80	約 1,700	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,200	約 30	約 300	約 300	約 10,000	約 300
鹿児島県	約 300	約 90	約 200	-	-	約 20	約 500	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 11,000	約 400	約 14,000	約 16,000	約 268,000	約 2,200

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 300	約 50	約 4,200	約 2,300	約 67,000	約 300
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 50	約 50	約 1,000	約 500	約 28,000	約 20
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 200	約 1,100	約 6,300	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 400	約 40	約 1,300	約 400	約 22,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	-	約 30	約 800	約 400	約 18,000	約 30
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 20	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 80	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	約 40	約 90	約 900	約 400	約 27,000	約 20
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 50	約 30	約 300	約 300	約 8,200	-
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 800	約 400	約 16,000	約 16,000	約 260,000	約 400

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース④、冬18時、風速8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約40	-	-	-	約40	-
東京都	-	-	約10	-	約10	-	約20	-
神奈川県	約300	約300	約40	-	約10	約400	約700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約1,100	約50	約4,200	約2,300	約68,000	約700
愛知県	約30,000	約7,900	約200	約20	約2,200	約2,200	約34,000	約40
三重県	約26,000	約3,900	約700	約50	約1,000	約500	約28,000	約200
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約200	約1,200	約3,000	-
大阪府	約11,000	約4,500	約600	-	約4,400	約5,400	約21,000	約200
兵庫県	約5,100	約1,800	約500	-	約200	約1,100	約6,800	約200
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約50	約500	約4,100	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約2,000	約40	約1,300	約400	約24,000	約100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	約20	-	約40	約200	約2,600	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	約10	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	約1,100	約30	約800	約400	約19,000	約300
香川県	約3,200	約500	約200	-	約20	約200	約3,500	約50
愛媛県	約7,100	約800	約300	約20	約80	約300	約7,700	約10
高知県	約25,000	約5,400	約1,000	約90	約900	約400	約28,000	約60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	約1,000	約10	-	約80	約1,700	約20
宮崎県	約7,500	約1,300	約2,200	約30	約300	約300	約10,000	約300
鹿児島県	約300	約90	約200	-	-	約20	約500	約30
沖縄県	-	-	約10	-	-	-	約10	-
合計	約227,000	約54,000	約11,000	約400	約16,000	約16,000	約270,000	約2,200

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 500	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,200	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 100	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 60
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 700	約 50	約 900	約 20	約 37,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 90	約 50	約 500	約 20	約 31,000	約 30
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 100	約 100	約 500	約 30	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 300	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 20
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,800	約 800	約 8,900	約 1,100	約 600,000	約 1,000

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,000	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 800
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 400	約 60	約 2,200	約 200	約 100,000	約 60
三重県	約 64,000	約 12,000	約 800	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 400	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 400	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,200	約 50	約 900	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 20	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 1,100	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 300
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 40	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 300	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,200	約 100	約 500	約 30	約 47,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,200	約 50	-	約 10	約 5,100	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 12,000	約 800	約 8,900	約 1,100	約 610,000	約 3,000

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 500	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 100	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 60
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 20
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 700	約 50	約 1,000	約 20	約 37,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 90	約 50	約 500	約 20	約 31,000	約 30
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 100	約 100	約 600	約 30	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 300	約 20	約 200	約 20	約 20,000	約 20
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,800	約 800	約 11,000	約 1,100	約 601,000	約 1,000

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 1,000	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 800
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 400	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	約 60
三重県	約 64,000	約 12,000	約 800	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 400	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 400	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 2,200	約 50	約 1,000	約 20	約 39,000	約 200
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 20	約 20	-	-	約 1,700	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 1,100	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 300
香川県	約 23,000	約 2,600	約 200	約 30	約 60	約 10	約 23,000	約 30
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 300	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 1,200	約 100	約 600	約 30	約 47,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,200	約 50	-	約 10	約 5,100	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,900	約 20	約 200	約 20	約 23,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	-	約 800	約 20
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 12,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 612,000	約 3,000

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	-	約 40	約 60	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	約 80	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 300	約 20	約 1,200	約 1,100	約 75,000	約 200
愛知県	約 72,000	約 24,000	-	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	-
三重県	約 54,000	約 9,200	約 50	約 30	約 900	約 400	約 55,000	約 10
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	-	約 10	約 3,000	約 5,700	約 42,000	約 40
兵庫県	約 14,000	約 3,700	-	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	-
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 300	約 30	約 1,100	約 300	約 33,000	約 60
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	-	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 30
山口県	約 1,100	約 200	-	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	-	約 20	約 600	約 300	約 29,000	約 30
香川県	約 17,000	約 2,000	-	約 10	約 50	約 200	約 17,000	-
愛媛県	約 37,000	約 6,300	-	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 20
高知県	約 44,000	約 9,800	約 40	約 40	約 600	約 400	約 45,000	約 20
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	-	約 20	-	約 90	約 2,700	-
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 50	約 10	約 200	約 200	約 17,000	-
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	約 10	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 800	約 300	約 11,000	約 17,000	約 503,000	約 500

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,100	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	約 50
三重県	約 54,000	約 9,200	約 700	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 200
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 500	約 10	約 3,000	約 5,700	約 42,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 500	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	約 400
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,000	約 30	約 1,100	約 300	約 34,000	約 100
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	約 10	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 1,200	約 20	約 600	約 300	約 30,000	約 300
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 50	約 200	約 18,000	約 80
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 300	約 20	約 600	約 500	約 38,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 600	約 400	約 46,000	約 60
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,300	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	約 10	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 11,000	約 300	約 11,000	約 17,000	約 513,000	約 2,600

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏12時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約300	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約200
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,700	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約50	約30	約1,000	約400	約55,000	約10
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約100	約1,700	約9,600	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,800	約5,700	約42,000	約40
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約100	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約100	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約300	約30	約1,200	約300	約33,000	約60
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約80	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約30
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約600	約300	約29,000	約30
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約90	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約800	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	約40	約40	約700	約400	約45,000	約20
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約50	約10	約300	約200	約17,000	-
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約800	約300	約13,000	約17,000	約505,000	約500

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 1,100	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,700	約 2,500	約 78,000	約 50
三重県	約 54,000	約 9,200	約 700	約 30	約 1,000	約 400	約 56,000	約 200
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 500	約 10	約 3,800	約 5,700	約 43,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 500	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	約 400
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 2,000	約 30	約 1,200	約 300	約 34,000	約 100
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 80	約 300	約 11,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 40
山口県	約 1,100	約 200	約 10	約 10	-	約 20	約 1,100	-
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 1,200	約 20	約 600	約 300	約 30,000	約 300
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 90	約 200	約 18,000	約 80
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 300	約 20	約 800	約 500	約 38,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 1,000	約 40	約 700	約 400	約 46,000	約 60
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 1,000	約 20	-	約 90	約 3,700	約 100
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,300	約 10	約 300	約 200	約 19,000	約 300
鹿児島県	約 600	約 100	約 200	-	-	約 10	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 11,000	約 300	約 13,000	約 17,000	約 515,000	約 2,600

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 300	約 30	約 2,700	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 50	約 50	約 2,100	約 800	約 49,000	約 10
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 400	約 40	約 2,100	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 30
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 40	約 70	約 1,100	約 700	約 38,000	約 20
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 50	約 10	約 800	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 800	約 500	約 39,000	約 29,000	約 512,000	約 400

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,100	約 30	約 2,700	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 50
三重県	約 46,000	約 8,900	約 700	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 200
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 600	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 300
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	約 400
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,000	約 40	約 2,100	約 600	約 34,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	約 10	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 1,100	約 40	約 1,200	約 500	約 27,000	約 300
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 300	約 300	約 17,000	約 80
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 300	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,100	約 700	約 39,000	約 60
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 10	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,200	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	約 20	約 600	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 11,000	約 500	約 39,000	約 29,000	約 522,000	約 2,600

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 300	約 30	約 2,800	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 50	約 50	約 2,100	約 800	約 49,000	約 10
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 400	約 40	約 2,200	約 600	約 32,000	約 60
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 30
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 30
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	約 40	約 70	約 1,400	約 700	約 38,000	約 20
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 50	約 10	約 800	約 400	約 16,000	-
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 800	約 500	約 42,000	約 29,000	約 515,000	約 400

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(3) 四国地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース④、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 40	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,100	約 30	約 2,800	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 50
三重県	約 46,000	約 8,900	約 700	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 200
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 600	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 300
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 500	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	約 400
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 2,000	約 40	約 2,200	約 600	約 34,000	約 100
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 40
山口県	約 1,200	約 100	約 10	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 1,100	約 40	約 1,200	約 500	約 27,000	約 300
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 400	約 300	約 17,000	約 80
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 300	約 40	約 2,400	約 800	約 38,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 1,000	約 70	約 1,400	約 700	約 39,000	約 60
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 1,000	約 30	約 30	約 200	約 4,000	約 100
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,200	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 300
鹿児島県	約 400	約 100	約 200	-	-	約 20	約 600	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 11,000	約 500	約 42,000	約 29,000	約 526,000	約 2,600

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



#### (4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 400	約 70	約 1,300	約 90	約 80,000	約 700
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 300	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 60	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 20
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 10	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 200	約 60	約 200	約 20	約 26,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 200	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 10	約 100	約 300	約 20	約 34,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 700	約 40	-	約 10	約 11,000	約 90
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,300	約 500	約 2,500	約 600	約 311,000	約 800

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 80	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 800	約 70	約 1,300	約 90	約 81,000	約 900
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 300	約 20	約 300	約 80	約 45,000	約 40
三重県	約 37,000	約 5,400	約 700	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 300	-	約 10	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 200	-	-	約 40	約 6,300	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,700	約 60	約 200	約 20	約 28,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	約 10	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 50	-	-	-	約 80	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 500	約 50	約 200	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 300	-	-	約 10	約 4,900	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 800	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 300	約 20	約 35,000	約 80
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,000	約 10	-	-	約 1,800	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,300	約 40	-	約 10	約 13,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	-	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 11,000	約 500	約 2,500	約 600	約 320,000	約 2,400

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 400	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 700
愛知県	約 44,000	約 11,000	-	約 20	約 400	約 80	約 45,000	-
三重県	約 37,000	約 5,400	約 60	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 20
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	-	-	約 30	約 200	約 13,000	約 10
兵庫県	約 6,000	約 2,300	-	-	-	約 40	約 6,100	-
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 200	約 60	約 400	約 20	約 26,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	-	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	-	約 50	約 300	約 10	約 22,000	-
香川県	約 4,600	約 600	-	-	-	約 10	約 4,600	-
愛媛県	約 10,000	約 1,100	-	約 30	-	約 10	約 10,000	-
高知県	約 34,000	約 7,300	約 10	約 100	約 400	約 20	約 34,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	-	約 10	-	-	約 800	-
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 700	約 40	約 10	約 10	約 11,000	約 90
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	-	約 400	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 1,300	約 500	約 3,200	約 600	約 311,000	約 800

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 80	-	-	約 10	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 4,000	約 600	-	約 10	-	約 10	約 4,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,900	約 500	-	-	-	-	約 1,900	-
静岡県	約 79,000	約 23,000	約 800	約 70	約 1,500	約 90	約 81,000	約 900
愛知県	約 44,000	約 11,000	約 300	約 20	約 400	約 80	約 45,000	約 40
三重県	約 37,000	約 5,400	約 700	約 80	約 200	約 20	約 38,000	約 200
滋賀県	約 1,300	約 500	-	-	-	約 10	約 1,400	-
京都府	約 1,900	約 800	-	-	-	約 40	約 2,000	-
大阪府	約 13,000	約 5,000	約 300	-	約 30	約 200	約 14,000	約 300
兵庫県	約 6,000	約 2,300	約 200	-	-	約 40	約 6,300	約 100
奈良県	約 4,700	約 1,000	-	約 10	-	約 20	約 4,700	-
和歌山県	約 26,000	約 4,000	約 1,700	約 60	約 400	約 20	約 28,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 3,200	約 700	約 20	約 10	-	約 10	約 3,300	約 10
広島県	約 200	約 200	約 10	-	-	-	約 200	-
山口県	約 30	約 30	約 50	-	-	-	約 80	-
徳島県	約 22,000	約 4,800	約 500	約 50	約 300	約 10	約 23,000	約 200
香川県	約 4,600	約 600	約 300	-	-	約 10	約 4,900	約 20
愛媛県	約 10,000	約 1,100	約 800	約 30	-	約 10	約 11,000	約 10
高知県	約 34,000	約 7,300	約 800	約 100	約 400	約 20	約 35,000	約 80
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
大分県	約 800	約 300	約 1,000	約 10	-	-	約 1,800	約 20
宮崎県	約 11,000	約 1,700	約 2,300	約 40	約 10	約 10	約 13,000	約 400
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	-	約 800	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 306,000	約 72,000	約 11,000	約 500	約 3,200	約 600	約 320,000	約 2,400

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約400	約400	-	-	-	約200	約500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
山梨県	約2,900	約500	-	-	-	約100	約3,100	-
長野県	約20	約20	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,100	約300	-	-	-	約40	約1,100	-
静岡県	約69,000	約18,000	約200	約30	約1,700	約1,300	約72,000	約200
愛知県	約29,000	約8,200	-	約10	約400	約1,300	約31,000	-
三重県	約28,000	約4,000	約20	約30	約200	約300	約29,000	-
滋賀県	約900	約400	-	-	-	約100	約1,000	-
京都府	約1,300	約700	-	-	-	約700	約2,100	-
大阪府	約9,800	約4,600	-	-	約10	約3,100	約13,000	約30
兵庫県	約4,500	約1,700	-	-	-	約600	約5,100	-
奈良県	約2,900	約700	-	約10	-	約300	約3,200	-
和歌山県	約21,000	約3,200	約30	約30	約400	約200	約22,000	約10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,000	約600	-	-	-	約100	約2,100	約10
広島県	約200	約200	-	-	-	約20	約200	-
山口県	約30	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約18,000	約3,800	-	約20	約300	約200	約19,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	-	約90	約3,300	-
愛媛県	約7,000	約900	-	約10	-	約100	約7,100	-
高知県	約29,000	約5,700	-	約50	約400	約200	約30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約40	約300	-
大分県	約600	約300	-	-	-	約40	約600	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約20	約10	約200	約7,900	約10
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約10	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約240,000	約56,000	約500	約200	約3,400	約9,400	約253,000	約300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 900	約 30	約 1,700	約 1,300	約 73,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 400	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 600	約 30	約 200	約 300	約 30,000	約 100
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 300	-	約 10	約 3,100	約 13,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 300	-	-	約 600	約 5,400	約 100
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,500	約 30	約 400	約 200	約 23,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 40	-	-	-	約 70	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 600	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,000	約 900	約 900	約 10	-	約 100	約 8,000	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 400	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,100	約 20	約 10	約 200	約 9,800	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 10	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 9,900	約 200	約 3,400	約 9,400	約 263,000	約 1,800

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	約 400	約 400	-	-	-	約 200	約 500	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 200	約 30	約 1,800	約 1,300	約 72,000	約 200
愛知県	約 29,000	約 8,200	-	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	-
三重県	約 28,000	約 4,000	約 20	約 30	約 300	約 300	約 29,000	-
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	-	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 30
兵庫県	約 4,500	約 1,700	-	-	-	約 600	約 5,100	-
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 30	約 30	約 500	約 200	約 22,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	-	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	-	約 20	約 300	約 200	約 19,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	-	約 90	約 3,300	-
愛媛県	約 7,000	約 900	-	約 10	-	約 100	約 7,100	-
高知県	約 29,000	約 5,700	-	約 50	約 500	約 200	約 30,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	-	-	-	約 40	約 600	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 200	約 20	約 20	約 200	約 7,900	約 10
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 10	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 500	約 200	約 4,200	約 9,400	約 254,000	約 300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
神奈川県	約 400	約 400	約 50	-	-	約 200	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
山梨県	約 2,900	約 500	-	-	-	約 100	約 3,100	-
長野県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,100	約 300	-	-	-	約 40	約 1,100	-
静岡県	約 69,000	約 18,000	約 900	約 30	約 1,800	約 1,300	約 73,000	約 600
愛知県	約 29,000	約 8,200	約 200	約 10	約 600	約 1,300	約 31,000	約 40
三重県	約 28,000	約 4,000	約 600	約 30	約 300	約 300	約 30,000	約 100
滋賀県	約 900	約 400	-	-	-	約 100	約 1,000	-
京都府	約 1,300	約 700	-	-	-	約 700	約 2,100	-
大阪府	約 9,800	約 4,600	約 300	-	約 100	約 3,100	約 13,000	約 200
兵庫県	約 4,500	約 1,700	約 300	-	-	約 600	約 5,400	約 100
奈良県	約 2,900	約 700	-	約 10	-	約 300	約 3,200	-
和歌山県	約 21,000	約 3,200	約 1,500	約 30	約 500	約 200	約 23,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,000	約 600	約 20	-	-	約 100	約 2,100	約 10
広島県	約 200	約 200	-	-	-	約 20	約 200	-
山口県	約 30	約 20	約 40	-	-	-	約 70	-
徳島県	約 18,000	約 3,800	約 600	約 20	約 300	約 200	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	-	約 90	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,000	約 900	約 900	約 10	-	約 100	約 8,000	約 10
高知県	約 29,000	約 5,700	約 700	約 50	約 500	約 200	約 31,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 40	約 300	-
大分県	約 600	約 300	約 900	-	-	約 40	約 1,500	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,100	約 20	約 20	約 200	約 9,800	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 10	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 240,000	約 56,000	約 9,900	約 200	約 4,200	約 9,400	約 263,000	約 1,800

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬18時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約10	-	約10	-
神奈川県	約300	約300	-	-	約10	約400	約600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
山梨県	約2,800	約400	-	約10	-	約200	約3,000	-
長野県	約10	約10	-	-	-	-	約20	-
岐阜県	約1,200	約300	-	-	-	約60	約1,300	-
静岡県	約61,000	約17,000	約200	約50	約4,000	約2,300	約67,000	約200
愛知県	約30,000	約7,900	-	約20	約2,100	約2,200	約34,000	-
三重県	約26,000	約3,900	約20	約50	約900	約500	約28,000	-
滋賀県	約1,000	約400	-	-	-	約200	約1,200	-
京都府	約1,500	約700	-	-	約10	約1,200	約2,700	-
大阪府	約11,000	約4,500	-	-	約3,500	約5,400	約20,000	約30
兵庫県	約5,100	約1,800	-	-	約50	約1,100	約6,200	-
奈良県	約3,600	約700	-	約10	約10	約500	約4,000	-
和歌山県	約20,000	約3,100	約30	約40	約1,300	約400	約22,000	約10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約2,300	約500	-	-	-	約200	約2,500	約10
広島県	約100	約100	-	-	-	約40	約200	-
山口県	約20	約20	-	-	-	-	約30	-
徳島県	約17,000	約3,600	-	約30	約800	約400	約18,000	-
香川県	約3,200	約500	-	-	約10	約200	約3,300	-
愛媛県	約7,100	約800	-	約20	約40	約300	約7,400	-
高知県	約25,000	約5,400	-	約90	約800	約400	約27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約200	約200	-	-	-	約70	約200	-
大分県	約600	約200	-	約10	-	約80	約700	-
宮崎県	約7,500	約1,300	約200	約30	約300	約300	約8,300	約10
鹿児島県	約300	約90	-	-	-	約20	約300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約227,000	約54,000	約500	約400	約14,000	約16,000	約258,000	約300

ー：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬18時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20	-
神奈川県	約 300	約 300	約 50	-	約 10	約 400	約 700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 900	約 50	約 4,000	約 2,300	約 68,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 200	約 20	約 2,100	約 2,200	約 34,000	約 40
三重県	約 26,000	約 3,900	約 600	約 50	約 900	約 500	約 28,000	約 100
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 10	約 1,200	約 2,700	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 300	-	約 3,500	約 5,400	約 20,000	約 200
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 300	-	約 50	約 1,100	約 6,500	約 100
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 10	約 500	約 4,000	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,500	約 40	約 1,300	約 400	約 23,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 20	-	-	約 200	約 2,500	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	約 40	-	-	-	約 60	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 600	約 30	約 800	約 400	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 10	約 200	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,100	約 800	約 900	約 20	約 40	約 300	約 8,300	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 800	約 400	約 27,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,000	約 30	約 300	約 300	約 10,000	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 20	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 9,900	約 400	約 14,000	約 16,000	約 267,000	約 1,800

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	約 10	-	約 10	-
神奈川県	約 300	約 300	-	-	約 10	約 400	約 600	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 200	約 50	約 4,200	約 2,300	約 67,000	約 200
愛知県	約 30,000	約 7,900	-	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	-
三重県	約 26,000	約 3,900	約 20	約 50	約 1,000	約 500	約 28,000	-
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	-	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 30
兵庫県	約 5,100	約 1,800	-	-	約 200	約 1,100	約 6,300	-
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 30	約 40	約 1,300	約 400	約 22,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	-	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	-	-	-	-	約 30	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	-	約 30	約 800	約 400	約 18,000	-
香川県	約 3,200	約 500	-	-	約 20	約 200	約 3,300	-
愛媛県	約 7,100	約 800	-	約 20	約 70	約 300	約 7,400	-
高知県	約 25,000	約 5,400	-	約 90	約 1,000	約 400	約 27,000	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	-	約 10	-	約 80	約 700	-
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 200	約 30	約 300	約 300	約 8,400	約 10
鹿児島県	約 300	約 90	-	-	-	約 20	約 300	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 500	約 400	約 16,000	約 16,000	約 260,000	約 300

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：基本ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	-	-	約 10	-	約 10	-	約 20	-
神奈川県	約 300	約 300	約 50	-	約 10	約 400	約 700	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
山梨県	約 2,800	約 400	-	約 10	-	約 200	約 3,000	-
長野県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
岐阜県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 60	約 1,300	-
静岡県	約 61,000	約 17,000	約 900	約 50	約 4,200	約 2,300	約 68,000	約 600
愛知県	約 30,000	約 7,900	約 200	約 20	約 2,200	約 2,200	約 34,000	約 40
三重県	約 26,000	約 3,900	約 600	約 50	約 1,000	約 500	約 28,000	約 100
滋賀県	約 1,000	約 400	-	-	-	約 200	約 1,200	-
京都府	約 1,500	約 700	-	-	約 200	約 1,200	約 3,000	-
大阪府	約 11,000	約 4,500	約 300	-	約 4,400	約 5,400	約 21,000	約 200
兵庫県	約 5,100	約 1,800	約 300	-	約 200	約 1,100	約 6,600	約 100
奈良県	約 3,600	約 700	-	約 10	約 50	約 500	約 4,100	-
和歌山県	約 20,000	約 3,100	約 1,500	約 40	約 1,300	約 400	約 24,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	約 2,300	約 500	約 20	-	約 40	約 200	約 2,600	約 10
広島県	約 100	約 100	-	-	-	約 40	約 200	-
山口県	約 20	約 20	約 40	-	-	-	約 60	-
徳島県	約 17,000	約 3,600	約 600	約 30	約 800	約 400	約 19,000	約 200
香川県	約 3,200	約 500	約 200	-	約 20	約 200	約 3,600	約 40
愛媛県	約 7,100	約 800	約 900	約 20	約 70	約 300	約 8,400	約 10
高知県	約 25,000	約 5,400	約 700	約 90	約 1,000	約 400	約 28,000	約 100
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 200	約 200	-	-	-	約 70	約 200	-
大分県	約 600	約 200	約 900	約 10	-	約 80	約 1,600	約 20
宮崎県	約 7,500	約 1,300	約 2,000	約 30	約 300	約 300	約 10,000	約 200
鹿児島県	約 300	約 90	約 400	-	-	約 20	約 700	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 227,000	約 54,000	約 9,900	約 400	約 16,000	約 16,000	約 269,000	約 1,800

一：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 400	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 600
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,200	約 200	約 99,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 60	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 20
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 10
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 40	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 200	約 50	約 900	約 20	約 37,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 40	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 500	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 10	約 100	約 500	約 30	約 46,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 700	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,300	約 800	約 8,900	約 1,100	約 599,000	約 800

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 80	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 800	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 200	約 60	約 2,200	約 200	約 100,000	約 50
三重県	約 64,000	約 12,000	約 700	約 80	約 700	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 10	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 300	約 10	約 2,500	約 400	約 49,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 200	約 20	約 40	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 50	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,700	約 50	約 900	約 20	約 38,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 20	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	約 10	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 50	約 20	-	-	約 1,800	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 500	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 300	約 30	約 40	約 10	約 23,000	約 20
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 800	約 60	約 500	約 30	約 48,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 500	約 30	約 47,000	約 70
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,000	約 50	-	約 10	約 5,000	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,300	約 20	約 200	約 20	約 22,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	-	約 1,000	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 11,000	約 800	約 8,900	約 1,100	約 608,000	約 2,700

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 10	約 10	-	-	-	-	約 20	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	-	-	約 200	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 400	約 40	約 1,000	約 70	約 73,000	約 600
愛知県	約 97,000	約 32,000	-	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	-
三重県	約 64,000	約 12,000	約 60	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 20
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	-	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 10
兵庫県	約 21,000	約 4,800	-	約 20	約 80	約 80	約 21,000	-
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 200	約 50	約 1,000	約 20	約 37,000	約 30
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	-	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	-	約 30	-	約 30	約 11,000	約 20
山口県	約 1,700	約 200	-	約 20	-	-	約 1,700	-
徳島県	約 31,000	約 7,900	-	約 50	約 500	約 20	約 31,000	-
香川県	約 23,000	約 2,600	-	約 30	約 60	約 10	約 23,000	-
愛媛県	約 47,000	約 8,100	-	約 60	約 700	約 30	約 47,000	約 20
高知県	約 45,000	約 13,000	約 10	約 100	約 700	約 30	約 46,000	-
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	-	約 50	-	約 10	約 4,000	-
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 700	約 20	約 200	約 20	約 21,000	約 100
鹿児島県	約 600	約 100	-	-	-	-	約 600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 1,300	約 800	約 11,000	約 1,100	約 601,000	約 800

ー:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬深夜、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内)	収納物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 200	-	-	-	約 200	-
東京都	約 10	約 10	約 10	-	-	-	約 30	-
神奈川県	約 200	約 200	約 80	-	-	-	約 300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 80	約 80	-	-	-	-	約 90	-
山梨県	約 5,900	約 800	-	約 10	-	約 10	約 6,000	-
長野県	約 2,000	約 400	-	約 10	-	-	約 2,000	-
岐阜県	約 5,000	約 1,000	-	約 20	-	約 10	約 5,000	-
静岡県	約 72,000	約 23,000	約 800	約 40	約 1,000	約 70	約 74,000	約 700
愛知県	約 97,000	約 32,000	約 200	約 60	約 2,300	約 200	約 100,000	約 50
三重県	約 64,000	約 12,000	約 700	約 80	約 800	約 30	約 65,000	約 200
滋賀県	約 9,700	約 1,400	-	約 10	-	約 20	約 9,800	-
京都府	約 12,000	約 2,400	-	-	約 60	約 100	約 12,000	-
大阪府	約 46,000	約 12,000	約 300	約 10	約 3,300	約 400	約 50,000	約 400
兵庫県	約 21,000	約 4,800	約 200	約 20	約 80	約 80	約 21,000	約 300
奈良県	約 18,000	約 2,900	-	約 40	約 100	約 40	約 18,000	-
和歌山県	約 36,000	約 7,100	約 1,700	約 50	約 1,000	約 20	約 38,000	約 90
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 17,000	約 2,100	約 20	約 20	約 70	約 20	約 17,000	約 20
広島県	約 11,000	約 1,800	約 10	約 30	-	約 30	約 11,000	約 40
山口県	約 1,700	約 200	約 50	約 20	-	-	約 1,800	約 10
徳島県	約 31,000	約 7,900	約 500	約 50	約 500	約 20	約 32,000	約 200
香川県	約 23,000	約 2,600	約 300	約 30	約 60	約 10	約 23,000	約 20
愛媛県	約 47,000	約 8,100	約 800	約 60	約 700	約 30	約 48,000	約 40
高知県	約 45,000	約 13,000	約 800	約 100	約 700	約 30	約 47,000	約 70
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 30	-	-	-	約 30	-
熊本県	約 400	約 300	-	約 10	-	-	約 400	-
大分県	約 3,900	約 700	約 1,000	約 50	-	約 10	約 5,000	約 80
宮崎県	約 20,000	約 4,000	約 2,300	約 20	約 200	約 20	約 22,000	約 400
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	-	約 1,000	約 30
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 587,000	約 141,000	約 11,000	約 800	約 11,000	約 1,100	約 610,000	約 2,700

－：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約200	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約200
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,600	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約20	約30	約900	約400	約55,000	-
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約10	約1,700	約9,500	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,000	約5,700	約42,000	約40
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約70	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約60	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約30	約30	約1,100	約300	約32,000	約10
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約30	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約20
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約600	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約50	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約600	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	-	約40	約600	約400	約45,000	-
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約200	約10	約200	約200	約17,000	約10
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約500	約300	約11,000	約17,000	約503,000	約300

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 900	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,600	約 2,500	約 77,000	約 40
三重県	約 54,000	約 9,200	約 600	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 100
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 10	約 1,700	約 9,500	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 300	約 10	約 3,000	約 5,700	約 42,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 300	約 10	約 70	約 1,200	約 16,000	約 300
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 60	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 1,500	約 30	約 1,100	約 300	約 34,000	約 50
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 30	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 50
山口県	約 1,100	約 200	約 40	約 10	-	約 20	約 1,100	約 10
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 600	約 20	約 600	約 300	約 29,000	約 200
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 50	約 200	約 18,000	約 50
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 900	約 20	約 600	約 500	約 39,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 700	約 40	約 600	約 400	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 900	約 20	-	約 90	約 3,500	約 80
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,100	約 10	約 200	約 200	約 19,000	約 200
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	約 10	約 1,000	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 9,900	約 300	約 11,000	約 17,000	約 512,000	約 2,200

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4)九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏12時、風速8m/s、早期避難率高+呼びかけ）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約10	約10	-	-	-	-	約10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約20	約20	-	-	-	約40	約60	-
神奈川県	約200	約200	-	-	-	約80	約300	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約90	約80	-	-	-	約10	約100	-
山梨県	約4,200	約600	-	-	-	約200	約4,300	-
長野県	約1,200	約300	-	-	-	約50	約1,300	-
岐阜県	約3,000	約700	-	約10	-	約90	約3,100	-
静岡県	約72,000	約18,000	約200	約20	約1,200	約1,100	約75,000	約200
愛知県	約72,000	約24,000	-	約20	約2,700	約2,500	約77,000	-
三重県	約54,000	約9,200	約20	約30	約900	約400	約55,000	-
滋賀県	約6,300	約1,100	-	-	-	約200	約6,600	-
京都府	約7,800	約1,900	-	-	約100	約1,700	約9,600	-
大阪府	約33,000	約11,000	-	約10	約3,800	約5,700	約42,000	約40
兵庫県	約14,000	約3,700	-	約10	約100	約1,200	約16,000	-
奈良県	約11,000	約2,100	-	約20	約100	約500	約12,000	-
和歌山県	約31,000	約5,700	約30	約30	約1,200	約300	約32,000	約10
鳥取県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
島根県	約10	-	-	-	-	-	約10	-
岡山県	約10,000	約1,700	-	約10	約80	約300	約10,000	約20
広島県	約7,000	約1,400	-	約10	-	約500	約7,500	約20
山口県	約1,100	約200	-	約10	-	約20	約1,100	-
徳島県	約28,000	約6,200	-	約20	約600	約300	約29,000	-
香川県	約17,000	約2,000	-	約10	約90	約200	約17,000	-
愛媛県	約37,000	約6,300	-	約20	約800	約500	約38,000	約20
高知県	約44,000	約9,800	-	約40	約800	約400	約45,000	-
福岡県	約20	約10	-	-	-	-	約20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約400	約200	-	-	-	約40	約400	-
大分県	約2,500	約500	-	約20	-	約90	約2,700	-
宮崎県	約16,000	約3,100	約200	約10	約300	約200	約17,000	約10
鹿児島県	約600	約100	-	-	-	約10	約600	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約474,000	約110,000	約500	約300	約13,000	約17,000	約505,000	約300

一:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、夏 12 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	-	約 40	約 70	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	-	約 80	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 90	約 80	-	-	-	約 10	約 100	-
山梨県	約 4,200	約 600	-	-	-	約 200	約 4,300	-
長野県	約 1,200	約 300	-	-	-	約 50	約 1,300	-
岐阜県	約 3,000	約 700	-	約 10	-	約 90	約 3,100	-
静岡県	約 72,000	約 18,000	約 900	約 20	約 1,200	約 1,100	約 76,000	約 500
愛知県	約 72,000	約 24,000	約 200	約 20	約 2,700	約 2,500	約 78,000	約 40
三重県	約 54,000	約 9,200	約 600	約 30	約 900	約 400	約 56,000	約 100
滋賀県	約 6,300	約 1,100	-	-	-	約 200	約 6,600	-
京都府	約 7,800	約 1,900	-	-	約 100	約 1,700	約 9,600	-
大阪府	約 33,000	約 11,000	約 300	約 10	約 3,800	約 5,700	約 43,000	約 300
兵庫県	約 14,000	約 3,700	約 300	約 10	約 100	約 1,200	約 16,000	約 300
奈良県	約 11,000	約 2,100	-	約 20	約 100	約 500	約 12,000	-
和歌山県	約 31,000	約 5,700	約 1,500	約 30	約 1,200	約 300	約 34,000	約 50
鳥取県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
島根県	約 10	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 10,000	約 1,700	約 20	約 10	約 80	約 300	約 10,000	約 20
広島県	約 7,000	約 1,400	-	約 10	-	約 500	約 7,500	約 50
山口県	約 1,100	約 200	約 40	約 10	-	約 20	約 1,100	約 10
徳島県	約 28,000	約 6,200	約 600	約 20	約 600	約 300	約 29,000	約 200
香川県	約 17,000	約 2,000	約 200	約 10	約 90	約 200	約 18,000	約 50
愛媛県	約 37,000	約 6,300	約 900	約 20	約 800	約 500	約 39,000	約 40
高知県	約 44,000	約 9,800	約 700	約 40	約 800	約 400	約 46,000	約 100
福岡県	約 20	約 10	-	-	-	-	約 20	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 400	約 200	-	-	-	約 40	約 400	-
大分県	約 2,500	約 500	約 900	約 20	-	約 90	約 3,500	約 80
宮崎県	約 16,000	約 3,100	約 2,100	約 10	約 300	約 200	約 19,000	約 200
鹿児島県	約 600	約 100	約 400	-	-	約 10	約 1,000	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 474,000	約 110,000	約 9,900	約 300	約 13,000	約 17,000	約 514,000	約 2,200

-: わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 200	約 30	約 2,700	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 20	約 50	約 2,000	約 800	約 49,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 30	約 40	約 2,200	約 600	約 32,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 20
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 300	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 1,900	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,200	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 10	約 200	約 2,900	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 700	約 400	約 16,000	約 10
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 500	約 500	約 39,000	約 29,000	約 512,000	約 300

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、平均風速、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 10	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 10	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,000	約 30	約 2,700	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 40
三重県	約 46,000	約 8,900	約 600	約 50	約 2,000	約 800	約 50,000	約 100
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 50	約 400	約 7,900	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,100	約 2,900	約 14,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 300	約 10	約 15,000	約 9,700	約 63,000	約 400
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 300	約 10	約 800	約 2,100	約 20,000	約 300
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 600	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 1,500	約 40	約 2,200	約 600	約 34,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 400	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 20	約 800	約 8,400	約 50
山口県	約 1,200	約 100	約 40	約 10	-	約 40	約 1,200	約 10
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 600	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 200
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 300	約 300	約 17,000	約 50
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 900	約 40	約 1,900	約 800	約 38,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 700	約 70	約 1,200	約 700	約 38,000	約 100
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 900	約 30	約 10	約 200	約 3,800	約 80
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,000	約 10	約 700	約 400	約 18,000	約 200
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	約 20	約 900	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 9,900	約 500	約 39,000	約 29,000	約 521,000	約 2,200

ー：わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率高＋呼びかけ）

（人）

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	（参考）堤防・水門が機能不全による増分
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）						
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	約 20	約 20	-	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	-	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 200	約 30	約 2,800	約 1,900	約 63,000	約 200
愛知県	約 68,000	約 22,000	-	約 40	約 7,300	約 4,200	約 79,000	-
三重県	約 46,000	約 8,900	約 20	約 50	約 2,100	約 800	約 49,000	-
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	-	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 40
兵庫県	約 17,000	約 3,700	-	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	-
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 30	約 40	約 2,200	約 600	約 32,000	約 10
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	-	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 20
山口県	約 1,200	約 100	-	約 10	-	約 40	約 1,200	-
徳島県	約 24,000	約 5,900	-	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	-
香川県	約 16,000	約 1,900	-	約 20	約 400	約 300	約 17,000	-
愛媛県	約 34,000	約 6,000	-	約 40	約 2,400	約 800	約 37,000	約 20
高知県	約 36,000	約 9,300	-	約 70	約 1,400	約 700	約 38,000	-
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	-	約 30	約 30	約 200	約 3,000	-
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 200	約 10	約 800	約 400	約 16,000	約 10
鹿児島県	約 400	約 100	-	-	-	約 20	約 500	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 500	約 500	約 42,000	約 29,000	約 515,000	約 300

－：わずか

（注）今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(4) 九州地方が大きく被災するケース

負傷者数（地震動：陸側ケース、津波ケース⑤、冬 18 時、風速 8m/s、早期避難率低）

(人)

	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考)堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
茨城県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
千葉県	-	-	約 100	-	-	-	約 100	-
東京都	約 20	約 20	約 10	-	約 10	約 100	約 100	-
神奈川県	約 200	約 200	約 50	-	約 10	約 200	約 400	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	約 70	約 70	-	-	-	約 10	約 80	-
山梨県	約 4,100	約 600	-	約 10	約 40	約 300	約 4,400	-
長野県	約 1,300	約 300	-	約 10	-	約 80	約 1,400	-
岐阜県	約 3,200	約 700	-	約 10	約 20	約 200	約 3,400	-
静岡県	約 58,000	約 17,000	約 1,000	約 30	約 2,800	約 1,900	約 64,000	約 500
愛知県	約 68,000	約 22,000	約 200	約 40	約 7,300	約 4,200	約 80,000	約 40
三重県	約 46,000	約 8,900	約 600	約 50	約 2,100	約 800	約 50,000	約 100
滋賀県	約 7,400	約 1,100	-	-	約 100	約 400	約 8,000	-
京都府	約 9,100	約 1,900	-	-	約 2,700	約 2,900	約 15,000	-
大阪府	約 38,000	約 11,000	約 300	約 10	約 16,000	約 9,700	約 64,000	約 400
兵庫県	約 17,000	約 3,700	約 300	約 10	約 1,100	約 2,100	約 20,000	約 300
奈良県	約 13,000	約 2,200	-	約 30	約 900	約 1,000	約 15,000	-
和歌山県	約 29,000	約 5,600	約 1,500	約 40	約 2,200	約 600	約 34,000	約 50
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	約 10	-
岡山県	約 12,000	約 1,600	約 20	約 10	約 500	約 500	約 13,000	約 20
広島県	約 7,500	約 1,400	-	約 20	約 40	約 800	約 8,400	約 50
山口県	約 1,200	約 100	約 40	約 10	-	約 40	約 1,200	約 10
徳島県	約 24,000	約 5,900	約 600	約 40	約 1,200	約 500	約 26,000	約 200
香川県	約 16,000	約 1,900	約 200	約 20	約 400	約 300	約 17,000	約 50
愛媛県	約 34,000	約 6,000	約 900	約 40	約 2,400	約 800	約 38,000	約 40
高知県	約 36,000	約 9,300	約 700	約 70	約 1,400	約 700	約 39,000	約 100
福岡県	約 10	約 10	-	-	-	-	約 10	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	約 40	-	-	-	約 40	-
熊本県	約 300	約 200	-	約 10	-	約 70	約 400	-
大分県	約 2,700	約 500	約 900	約 30	約 30	約 200	約 3,800	約 80
宮崎県	約 15,000	約 2,900	約 2,000	約 10	約 800	約 400	約 18,000	約 200
鹿児島県	約 400	約 100	約 400	-	-	約 20	約 900	約 50
沖縄県	-	-	約 10	-	-	-	約 10	-
合計	約 443,000	約 105,000	約 9,900	約 500	約 42,000	約 29,000	約 525,000	約 2,200

-:わずか

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しており、都府県別の数値はある程度幅をもって見る必要がある。また、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。